

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	令和2年	12	月	27	日
事業所名: 夢門塾ゆうゆう 太子					

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	6			各部屋動きやすい様に家具の配置をしている
	②	職員の配置は適切である	6			臨機応変に対応できるように配置している
	③	衛生面の管理が行き届いている	6			感染症マニュアルに基づき実施している。職員同様、児童にも来所後の手洗いうがい種子消毒・衣類の更衣を促している
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	6			月に一度会議を実施。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6			2019年より実施している。 親御様より頂戴したご意見を職員間で共有して改善に努めている
	⑥	自己評価の結果を公開している	6			2019年より実施している。
	⑦	職員の資質向上のため、研修の機会を確保している	6			今年度はコロナウィルスの影響により例年より参加率は減となったが必要な研修はオンラインに参加している。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6			相談支援事業所より頂く支援計画をもとにケアカンファレンスを行い個別計画を作成している
	⑨	活動の計画をチームで行っている	6			計画の段階で職員間でディスカッションを実施している。月単位で計画をたて実施。翌月には反省も踏まえて改善策を立て支援に生かす工夫をしている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	6			今年度はコロナで自粛傾向にあり計画案を出す事も難しかったが。その中でも色々な情報を職員各自持ち合わせて新たな取り組みも沢山実施している。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	6			行事計画書を作成し、職員間で共有。タイムスケジュールに沿って支援を実施。 コロナウィルスや天候など様々な理由にて予定が変更なった際にでも臨機応変に対応できるようにいくつかの案を計画している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	6			児童の状況に応じて活動計画を実施している。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			ミーティングにて毎日の打ち合わせを実施している また必要な情報は当日公休や非常勤の職員にも伝わるように情報共有シートに記入し職員間で共有。既読確認も行っている
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			その日の通所児童の記録は毎日入力している。 翌日のミーティングにて前日の振り返りを行い改善に努めている
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6			定期的にモニタリングを実施している。 当児やご家族様の思いに耳を傾けながら必要に応じて個別支援計画の見直しを実施。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6			入社時にガイドラインを理解するようにしている。基本活動を複数組み合わせて支援を行っている

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有（年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行えている	6			利用予定表を作成。学校・親御様との月間予定の情報の共有を実施。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めている	6			頂いた情報も含め、必要に応じて情報の共有に努めている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	6			対象児童無し
	㉔	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			
	㉕	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6			利用日には必ずアプリにて親御様にその日の状況や様子を写真添付で送っている。また送迎時保護者様との会話の中で伝えている
保護者様への説明責任等	㉗	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	6			契約時に契約書・重要事項説明書を元に説明している。
	㉘	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	6			電話、連絡帳アプリなどにて対応している。必要に応じて面談を実施したり、大きな案件については担当者会議といった形で利用事業所全て情報の共有がなされている。
	㉙	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	0	6		今期はコロナの状況で開催が出来なかった。 落ち着いたらまた依然行っていたオープンスクール、保護者会、ランチ会など復活して保護者様同士の連携がとれるよう企画していきたいと思っている。またリモートで行うかも検討中
	㉚	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			苦情があった場合には迅速に対応しており、必要に応じて相談支援専門員の方を交え対応している
	㉛	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6			毎月行事予定、お便りを作成し配布しています。またブログにて活動内容の様子を公開している。
	㉜	個人情報に十分注意している	6			契約時個人情報使用同意書を頂いており緊急時仕様の許可は御同意頂いている。また普段から個人情報の扱いには職員全員が十分に配慮している
	㉝	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			視覚支援など、簡易に伝わる様務めている。
	㉞	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	0	6		今期は例年継続して参加させて頂いている地域行事が中止になってしまった。今年は小規模でも何かしたいとお声がけ頂いているので参加していきたい。
非常時などの対応	㉟	緊急対応、防犯、感染症マニュアルを策定し、周知している	6			マニュアルを事業所内すぐ手に取れる場所に設置。更新毎に各職員に情報共有
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	6			避難経路の確認、消防・防災訓練を行っている
	㊲	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			毎年必ず「虐待防止のための研修」は参加している。諸事情にて参加出来なかった職員も資料確認促し、資料既読確認も実施している。
	㊳	いかなる場合も身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	6			現在該当する児童がいない。
	㊴	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	6			到着時に服薬する児童に投薬を忘れないように児童のIDカードに薬を飲むと表示して声を掛け合う工夫をしている。
	㊵	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	6			ミーティングで情報共有し改善している。